

令和5年度 延岡市立方財小学校 学校評価書

本年度の重点目標

- ① 意欲をもって自ら学ぶ児童の育成
- ② 思いやりの心で他者とかかわる児童の育成
- ③ 体力向上、健康安全に挑戦する児童の育成
- ④ 家庭や地域、関係機関とともに育む連携の推進

4段階評価

- 4 期待以上
- 3 ほぼ期待どおり
- 2 やや期待を下回る
- 1 改善を要する

評価項目	評価指標	自己 評定	自己評価結果の考察・分析	学校運営協議会委員のコメント	評価
意欲をもって自ら学ぶ児童の育成	① 基礎学力の確実な定着 ② アウトプットしながら相互に学び合う学習指導の工夫 ③ 家庭学習や読書活動の充実	2.9	○児童の評定平均は3.2に対し、保護者の評定平均は2.6であった。家庭と連携して学習習慣の定着と個に応じた学習指導の充実を図る。 ○読書の励行について、学校全体で取り組み、読書に対する意識が高まってきている。家庭との連携を図った読書活動も推奨していく。 ○ICTを活用した表現活動の充実に取り組み、発表やグループでの意見交換等で成果が出始めている。 ○家庭学習や宿題を見届けし、理解不足の復習を行ったり、良いところを称賛したりして、意欲を高めていく。	○職員研修を充実し、授業力を高めることで、学力向上を目指してほしい。 ○読書への興味を高める手立てを今後も継続してほしい。 ○参観した授業で、児童がプレゼンの資料を自分で作成していたことに驚いた。確実にICTを活用する力が身に付いている。	3.0
思いやりの心で他者とかかわる児童の育成	① 的確な児童理解に基づいた積極的な生徒指導の充実 ② 体験活動の推進を通じた豊かな心の醸成 ③ 個に応じた支援と校内支援体制の充実	3.1	○児童の不安や訴えに対して、児童の話をよく聞き、状況を判断しながら、適切に個別・全体に指導を行うようにする。また、保護者との連絡・連携を密にしながら、学校と家庭が協働して指導を行うようにする。 ○保護者から挨拶の声が小さいなどの指摘があった。時と場に応じた挨拶について、学年の発達の段階に応じて指導していく。 ○日常の学校生活のあらゆる場面で、相手を意識した思いやりの気持ちで接することの大切さを指導していく。	○方財まちづくり協議会や公民館長主催の行事が多くあることから、児童は明るく元気に挨拶をしてくれる。 ○大人側から、児童に積極的に声をかけている。 ○放課後や休日に、外で遊ぶ児童が少なくなっているように感じる。	3.0
体力向上、健康安全に挑戦する児童の育成	① 体育科・業間活動の充実による体力の向上 ② 感染症予防の実践力の育成 ③ メディアとの望ましいいかかわり方を実践する態度の育成	3.3	○昼休みは外で元気に遊ぶ児童の姿が見られた。 ○運動会や持久走大会等を通じて、児童は主体的に運動に取り組んでいた。 ○新型コロナウイルスやインフルエンザに感染しないためのマスク着用や手洗いうがいなど、予防実践の態度が身に付いてきている。 ○授業で、児童のタブレットを活用するスキルが高まる一方、ゲーム・インターネット依存にならないための生活習慣やSNS活用での人権意識の向上をねらいとした指導も充実させる必要がある。	○インターネット依存については、全国的な問題だと思う。各家庭で、時間を決めるなど、ルールをしっかりと定め、守らせていくことが大切である。 ○健康安全については、しっかり噛んで食事をするに関する指導が大切だと思う。	3.5
家庭や地域、関係機関とともに育む連携の推進	① CSにおける目標の共有と実践の協働に向けた組織作り ② 保護者や地域への定期的な情報発信	3.4	○地域ふれあい学習を4年ぶりに行い、地域の方と学校が協働して地域を盛り上げることができた。同日にPTAバザーも4年ぶりに行うことができたのも効果的だった。 ○保護者や地域へ定期的に学校・学級便りを発行するとともに、ホームページの更新も積極的に行い、保護者や地域に情報を発信できた。	○授業日に、毎回ホームページを更新していただいている。地域の行事の掲載もあるので、ありがたい。 ○学校便りは、写真がたくさんある方が読みやすい。	3.5

【学校運営協議会委員による総評】本年度の取組について、次年度への改善に向けて

- 方財区は、児童が参加する地域主催の行事が多い。地域で児童を育てていくことを今後も継続したい。
- コロナ禍で自粛していたPTA行事や保育園との交流を復活させている。今後は、東小学校の児童との交流も計画してほしい。